

ひだかしんきん 地区内経済概況



まごころ ふれ愛

日高信用金庫

URL <http://www.shinkin.co.jp/hidaka/>

* * * * *

目 次

* * * * *

業種別総括 令和 1年11月

概 況		1
漁業・水産加工業		2
農業・軽種馬生産業		3
建設業		3
木材・製材業		4
卸・小売業・観光		4
倒産・雇用状況		5
そ の 他		5
指 標		6～7
ト ピ ッ ク		8
インフォメーション		9

《業 種 別 総 括》

概 況

令和1年11月

〔漁 業〕

- ・ 11月の総水揚げは、漁獲量・漁獲金額はともに前年を上回った。秋サケ漁は不振のまま全地区で終了した。漁獲量は、定置網、イカ、イワシ漁が前年比増加し、底曳き、タラ・スケソウ漁が減少した。漁獲額では、底曳き、定置網、イカ、イワシ漁が増加し、タラ・スケソウ漁、昆布が減少している。

〔農業・軽種馬生産業〕

- ・ 門別競馬場は本年度の全日程を終了し閉幕した。馬券発売総額は、過去最高の330億8,214万円となり、平成6年以来25年ぶり。9年連続で前年度を上回った。
- ・ 中央・地方競馬の交流GIで、ダート競馬の祭典とされるJBC3競走が開かれ、1,400mの2競走で浦河町内生産馬が優勝した。レディスクラシックは、広田伉助牧場生産のヤマニンアンプリメが、スプリントでは、鮫川啓一牧場生産のブルドッグボスが頂点に立った。

〔建 設〕

- ・ 町発注工事(新ひだか〜広尾地区)の月中発注額は6,600万円で、前年を3,200円上回った。
- ・ 日高管内における国・道・町発注公共工事の月中請負金額(北海道建設業信用保証㈱の保証請負金額)は7億8,000万円で前年を2億7,600万円下回った。
- ・ 月中建築確認申請件数(新ひだか〜広尾地区)は、5件で、前年を3件下回った。

〔卸・小売業・飲食〕

- ・ 日高中央漁協(浦河)の「山漬け祭り」が17日、同漁協市場で開かれた。目玉商品のサケ山漬け1.5kg、2,500円、2kg、3,300円、新巻サケ(小)2kg、未滿1,000円のほか、1串10〜15匹の新物干しシシヤモ600円の各コーナーには長蛇の列ができた。人気のゆでたて大たこ足1,000円は即完売となった。

〔観光・その他〕

- ・ えりも町の緑化事業を題材にした映画「北の流氷」(仮題)の2021年春のクランクインを目指し、地元自治体や住民が準備を本格化させている。来年にはえりも、浦河、様似、十勝管内広尾町の4町が中心となって制作費集めに乗り出すほか、メガホンを取る田中光敏監督(61)の故郷・浦河町では、町民有志の応援団が映画製作を盛り上げていく考え。数億円と見込む製作費集めの協力について、4町は来年春ごろから国や道、緑化事業に関連する企業、団体を田中監督と訪ね、支援を求める。浦河町では、田中監督の応援団「浦河田中組」が支援に向けた体制づくりを進めている。

〔雇 用〕

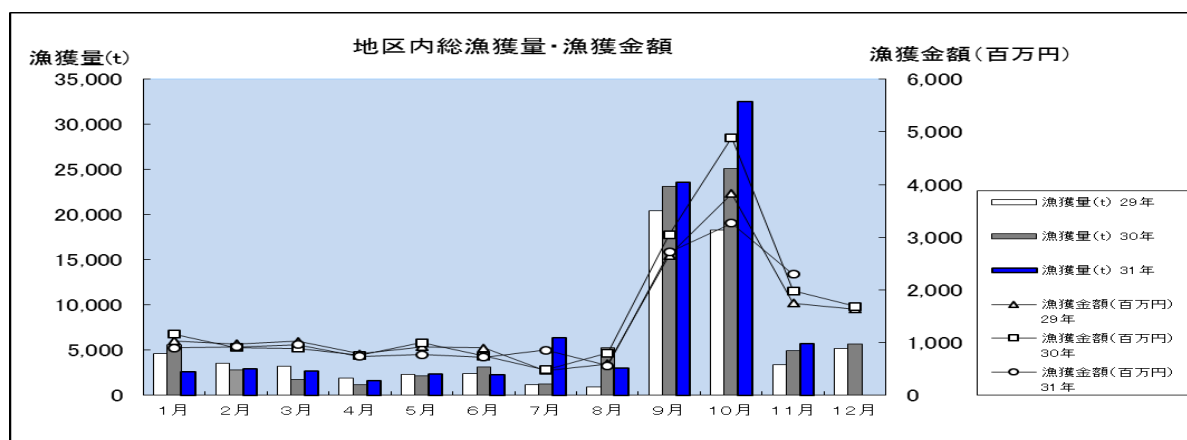
- ・ 浦河地区と全道の月間有効求人倍率は、浦河地区、全道ともに前年を上回った。

〔総 括〕

- ・ 建設業の月中請負金額(北海道建設業信用保証㈱の保証金額)、は前年を2億7,600万円下回った。町発注工事は前年を3,200万円上回った。前月比では、国、道発注工事、町発注工事はともに減少している。漁業では、漁獲量、漁獲金額は前年を上回った。秋サケ定置網漁・イカ・イワシ漁が漁獲量・金額ともに増加した。秋サケ定置網漁は全地区で終了した。不振だったイカが11月に入り大量に水揚げされた。小売業は、消費税増税の影響もなく、各地区の特売市等には「特価品」を求め大勢の客でにぎわった。基幹産業の漁業では、秋サケ漁が不振のまま終了。前年比では、えりも、様似、浦河までが4〜6割台の水揚げ量で三石を中心に同地区から西側は比較的好調の地区が多かった。地区内の景況は、漁業の低迷から活況がなく、燃料価格の上昇もあり、個人消費も消費増税の影響は少ないとはいえ買い控え感が強く、総体的に動きは鈍く、景況はやや下降となっている。

漁業・水産加工業

〔沿岸漁業〕 秋サケ定置網漁、スケソウ、タコ、漁等。〔沖合い漁業〕 底曳き網、イワシ漁等。
 総漁獲量 5,699^ト・金額 22億9,700万円(前年同月比788^ト増・3億1,700万円増)



定置網漁……………	983 t	・ 662 百万円	(前年同月比	127 t 増	・ 63 百万円増)
カレイ漁……………	102 t	・ 66 百万円	(前年同月比	19 t 減	・ 16 百万円減)
タコ漁……………	126 t	・ 66 百万円	(前年同月比	43 t 増	・ 17 百万円増)
ツブ漁……………	82 t	・ 71 百万円	(前年同月比	20 t 増	・ 8 百万円増)
底曳き網漁……………	1,355 t	・ 261 百万円	(前年同月比	227 t 減	・ 56 百万円増)
タラ・スケソウ漁…	818 t	・ 194 百万円	(前年同月比	540 t 減	・ 55 百万円減)
イカ漁……………	229 t	・ 204 百万円	(前年同月比	127 t 増	・ 145 百万円増)
ホッキ漁……………	60 t	・ 41 百万円	(前年同月比	増減なし	・ 23 百万円増)
イワシ漁……………	997 t	・ 32 百万円	(前年同月比	997 t 増	・ 32 百万円増)
シシヤモ漁……………	68 t	・ 100 百万円	(前年同月比	4 t 減	・ 15 百万円増)
サンマ漁……………	172 t	・ 36 百万円	(前年同月比	2 t 減	・ 19 百万円増)
昆 布……………	218 t	・ 402 百万円	(前年同月比	62 t 減	・ 39 百万円減)
その他……………	489 t	・ 162 百万円	(前年同月比	378 t 増	・ 49 百万円増)

- ・ 11月の総水揚げ。漁獲量は前年を788^ト上回り、漁獲金額は3億1,700万円上回った。主力の秋サケ漁は全地区終了した。漁獲量の大幅な増加は、昨年水揚げがなかった、広尾地区のイワシ漁、不振だったイカの水揚げ等が増加した。漁獲額は定置網、イカ、底曳き網漁で増加している。
- ・ 秋サケ定置網漁は11月23日までに全地区で終了した。全体の漁獲量は前年比63.8%の4,339^ト（前年6,803^ト）、金額は同59%の27億5,512万円（同46億7,288万円）。前年比では、岬以東のえりも、様似、浦河までが4～6割台の水揚げ量で三石を中心に同地区から西側は比較的好調の地区が多かった。管内の秋サケ漁は、平成28年、29年と連続して記録的な不漁となったが、昨年は前年の2倍以上、金額は約4割増と回復。ただ、岬から東側は今年を含め4年連続の不漁で、厳しい状況が続いている。
- ・ 浦河沖のイカ漁が11月に入り本格化している。8月はゼロ、9月も3.8^トでほとんど獲れなかった。11月に入り、11日以降は連日まとまった漁模様となり、ここ1週間ほどで約100^ト、18日までの総漁獲量は166^ト。イカ船は、多くが山形県や青森県などの外来船。18日は浦河沖で29隻、様似沖で17隻の46隻が操業。20匹入りなど発泡スチロールで約2,900箱、加工用の木箱で414箱を水揚げした。価格は発泡箱で5,000円前後、木箱は12,000～15,000円と高値の取引となっている。

(対象は新ひだか、浦河、様似、えりも、広尾の各地区) (「t」はトンを表しています)

農業・軽種馬生産業

〔軽種馬生産業〕

- ・ 門別競馬場で4月に開幕したホッカイドウ競馬は7日、本年度の全日程を終了し閉幕した。開催80日間の発売総額は前年実績比31.6%増で過去最高の330億8,214万円となり、300億円を突破したのは平成6年以来25年ぶり。9年連続で前年度を上回った。発売内訳は、インターネット・電話が前年比35.6%増の283億3,068万円と全体の85.6%を占め、売上拡大に寄与した。入場人員は30万1,155人(前年27万7,126人)。レース数は952レース、出走頭数は9,275頭だった。1レースの馬券発売額が8月15日に開催されたブリーダーズゴールドカップ(統一GⅢ)で10億4,800万円を記録するなど、最高記録を更新。関係者の運営努力や馬産地日高からの支援もあり、黒字基調が定着化した。本年度の最終収支は、今後の門別競馬場やA i b aでの中央競馬や道外地方競馬、ばんえい競馬の馬券発売の手数料収入も加算されるため、来春に確定する。
- ・ 浦河町西舎のJRA日高育成牧場が6月5日から毎週実施してきた無料の「牧場内見学ツアー」が、10月30日で終了した。ツアー参加者は529人(昨年509人)で過去最高となった。総面積1,500haの敷地内に広大な草原を利用したグラス馬場や世界でも類を見ない全長1,000mの屋内直線馬場などの総合調教施設がある。今年の参加者は、道内が約23%、道外が約77%と道外ツアー客が増加した。

〔農 業〕

- ・ 新ひだか町静内農業担い手育成支援協議会の新規就農講座が、11月5日から始まり、12月3日まで就農を目指す研修生が栽培技術の基本などの習得に励んでいる。新規就農を目指す研修生を対象に、農業改良普及センター、JAしずない、NOSA I、ホクレン、町など関係機関の協力で毎年実施している。講座は11月に4回、12月3日の最終まで計5回。道内農業や農業経営、施設・機械、土壌肥料、園芸、クリーン農業、病虫害防除などを学んでいる。

〔花き栽培〕

- ・ 11月の花き出荷実績は、65万本、金額8,463万円(前年65万本、8,106万円)。

建設業

〔公共工事〕

- ・ 日高管内の国・道・町発注公共工事の月中請負金額(北海道建設業信用保証株の保証請負金額)は、7億8,000万円で、前年同月比で2億7,600万円減少した。

〔町発注工事・建築確認申請〕 (令和1年11月)

	工 事 件 数				金 額 (百万円)				確認申請件数
	土 木	建 築	その他	計	土 木	建 築	その他	計	
新ひだか町	3	0	4	7	32	0	15	47	3
浦 河 町	1	3	3	7	4	11	4	19	0
様 似 町	0	0	0	0	0	0	0	0	1
え り も 町	0	0	0	0	0	0	0	0	1
広 尾 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	4	3	7	14	36	11	19	66	5

- ・ 町発注工事(新ひだか～広尾地区)は14件、6,600万円となった(前年同月9件3,400万円)。工事発注状況をみると、前年同月比では、件数は5件上回り、金額は3,200万円上回った。
- ・ 月中受付の建築確認申請件数(新ひだか～広尾地区)は5件で、前年を3件下回った。

木材・製材業

〔木 材〕

- ・チップ材の出荷状況(広尾地区)は、数量が513トン(前年1,055トン)で前年比51.3%の減少。
出荷金額は881万円(同1,820万円)で前年比51.5%の減少。

〔製 材〕

- ・建材、プレカット材等は建築業者からの注文で前年並みで推移している。

卸・小売業・観光

〔卸売業〕

- ・果物類は本州産のミカン・リンゴ・イチゴ、他バナナ・グレープフルーツが主体となっている。
野菜は本州産の葉物野菜が中心で、道内産ではゴボウ・カボチャ・ホウレン草・ネギ・長イモ・玉ネギが出荷されている。浦河・様似産の夏イチゴの生産は終了。取り扱いには大幅に増加した。

〔小売業・飲食業〕

- ・日高と胆振の食費業者が販路拡大に向けて専門的なノウハウを学ぶ「いぶり・ひだか食のステップアップ相談会」が18日、静内で開かれた。地元食材を扱う16業者が参加し、商品のデザインやPRの戦略などを話し合った。道内外の百貨店や飲食店など9業者の商品デザインの専任社員らを招き、地元業者が自社商品を持ち込んでアドバイスを求めた。
- ・全国各地の優れた産品を発掘し表彰する「フード・アクション・ニッポンアワード2019」(農林水産省主催)で、十勝管内広尾町の「広尾しおサイダー」が特別賞を受賞した。「広尾しおサイダー」は爽やかな甘さとしょっぱい後味が特徴のサイダー。全国から1,491品の応募があり、アマゾンジャパンなどの審査員企業10社が受賞10品を選定した。特別賞は審査会前に開催された「フード・アクション・ニッポン食堂」で、一般投票の多かった5品を選んだ。

〔観光・その他〕

- ・「サンタランド」の認定を受けている広尾町から届くクリスマスカード「サンタメール」の受け付けが11月1日から始まった。全国の児童養護施設へサンタメールとプレゼントを子どもたちに届ける、「あしながサンタメール」事業が新たにスタートする。締め切りは12月10日。
- ・「サッポロファクトリー」で2日、広尾町から贈られたトドマツを使ったジャンボクリスマスツリーの点灯式が行われた。今年で27回目。トドマツは高さ15メートル、重さ約3.4トン、樹齢約40年。6色のきらびやかなLEDライト約4万個と1,300個のオーナメントで装飾した。式には広尾町の村瀬町長や「ひろおキッズサンタ」が出席。期間は12月25日まで。点灯時間は午後4時～10時まで、午後4時の点灯から1時間ごとに5分間の音と光のショータイムがある。
- ・様似町冬島の漁業、坂本雅彦さん(38)、悠さん(33)兄弟が今年から試験的に始めた一般向けの秋サケ定置網漁の体験事業が、今季の実施を終えた。9～10月に札幌や東京から14組32人の申し込みがあり、参加者たちは船上で漁を間近に見たり、「漁師めし」を味わったりした。「他ではできない貴重な経験」と好評で、兄弟は来季からの本格実施へ手応えを感じている。
- ・えりも観光の拠点施設「襟裳岬・風の館」が、観光客が減少する12月1日から来年2月29日まで3カ月間休館に入る。ただし、元旦は道内の「初日の出」観光スポットとして、道央や十勝方面などから大勢の観光客が訪れるため、風の館は元旦のみ午前5時から8時まで臨時開館する。駐車場のえりも岬観光センターは、元旦のみ午前5時から10時ごろまで臨時開店し、温かい食事の提供とみやげ品を販売する。

倒産・雇用状況

〔管内の倒産〕

- 当金庫管内(新冠町～えりも町)の倒産は、0件(前年同月1件)、負債総額はゼロ(同3,000万円)。
当金庫管内を含む苫小牧管内の倒産は、0件(前年同月1件)、負債総額はゼロ(同1億5,000万円)。

〔道内の倒産〕

- 北海道の倒産件数は15件(前年同月18件)、負債総額は36億4,000万円(同20億円)、倒産件数は前月比3件増加、前年比3件減少となった。
(東京商工リサーチ)

〔全国の倒産〕

- 全国の倒産件数は728件(前年同月718件)、負債総額は1,241億1,000万円(同1,212億7,000万円)。
倒産件数は前月比52件減少、前年比で10件増加した。

〔雇 用〕

- 11月の浦河地区の月間有効求人倍率は1.89倍で前年比0.10ポイント、前月比0.37ポイント上昇した。有効求人数は1,107人で前年比61人減少、前月比で168人の増加となった。有効求職者数は585人で前年比69人減少、前月比で34人減少した。全道の月間有効求人倍率は1.28倍で前年比0.05ポイント上昇した。

その他

管内生産馬、中央競馬重賞レース勝馬

- 11/3 第9回 みやこステークス (GⅢ)
ヴェンジェンス 号 (浦河町 富田牧場 殿生産)
- 11/9 第24回 武蔵野ステークス (GⅢ)
ワンダーリーデル 号 (浦河町 大島牧場 殿生産)
- 11/10 第55回 福 島 記 念 (GⅢ)
クレッシェンドラヴ 号 (新ひだか町 木村 秀則 殿生産)
- 11/16 第24回 東京スポーツ杯2歳ステークス (GⅢ)
コントレイル 号 (新冠町 (株)ノースヒルズ 殿生産)
- 11/24 第64回 京 阪 杯 (GⅢ)
ライトオンキュー 号 (日高町 ダーレー・ジャパン・ファーム(有) 殿生産)
- 11/30 第70回 チャレンジカップ (GⅢ)
ロードマイウェイ 号 (新ひだか町 ケイアイファーム 殿生産)

令和元年度日高沿岸秋サケ定置漁業の漁獲速報(累計) (11月23日 終了)

地 区	旧漁協名	漁場数	漁獲重量 (kg)	前年同期 (kg)	前年比 (%)	漁獲金額 (千円)	前年同期 (千円)	前年比 (%)
えりも	庶野	5	368,523	471,920	78.1	232,962	309,140	75.4
以東西部	えりも町	3	105,234	129,564	81.2	72,282	87,879	82.3
(庶野～襟裳岬)	合計	8	473,757	601,484	78.8	305,243	397,019	76.9
	えりも町	9	624,508	1,314,251	47.5	428,136	890,723	48.1
	冬島	3	370,760	836,897	44.3	244,059	556,601	43.8
	様似	4	497,360	1,212,428	41.0	333,626	856,020	39.0
えりも	浦河	4	436,833	679,937	64.2	296,623	483,888	61.3
以西日高	荻伏	2	414,560	605,507	68.5	273,616	430,641	63.5
(襟裳岬～門別)	三石	3	536,571	510,008	105.2	313,271	348,214	90.0
	静内	6	529,822	547,807	96.7	305,215	379,222	80.5
	新冠	3	280,708	282,660	99.3	159,899	192,737	83.0
	門別町	4	174,878	212,282	82.4	95,436	137,815	69.2
	合計	38	3,865,999	6,201,777	62.3	2,449,880	4,275,861	57.3
日高管内合計		46	4,339,756	6,803,261	63.8	2,755,124	4,672,880	59.0

(注) 調査区域：浦河地区、新ひだか町静内地区及び三石地区、新冠地区、様似地区、えりも地区、広尾地区

《指標》

1 営業区域の人口・世帯数動向（令和1年11月現在）

（単位：人）

町 村 別	人 口			世 帯		
	人 数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
平 取 町	4,957	-107	-21	2,529	-20	-10
日 高 町	11,653	-278	-23	6,110	-96	-21
新 冠 町	5,493	-78	-13	2,759	-3	-18
新ひだか町	22,257	-438	-15	11,659	-109	2
浦 河 町	12,170	-297	-30	6,676	-91	-12
様 似 町	4,238	-90	-6	2,170	-36	-5
え り も 町	4,626	-101	-12	2,130	-3	-2
日高地区合計	65,394	-1,389	-120	34,033	-358	-66
広 尾 町	6,680	-212	-10	3,321	-53	-7
大 樹 町	5,530	-98	2	2,734	6	1
日高・十勝地区合計	77,604	-1,699	-128	40,088	-405	-72
札 幌 市	1,970,462	3,745	42	964,487	10,276	22
江 別 市	119,558	589	-15	57,992	774	-1
石 狩 市	58,258	-98	-26	27,855	268	2
北 広 島 市	58,309	-335	-8	27,740	208	5
恵 庭 市	70,039	173	-11	33,755	432	-17
千 歳 市	97,562	480	49	50,070	830	40
石狩地区合計	2,374,188	4,554	31	1,161,899	12,788	51
苫 小 牧 市	171,290	-502	18	89,449	961	25
厚 真 町	4,519	-80	-27	2,123	-28	-12
む か わ 町	7,919	-244	-14	4,120	-104	-2
胆振地区合計	183,728	-826	-23	95,692	829	11
営業区域合計	2,635,520	2,029	-120	1,297,679	13,212	-10

注：日高町の人口数に外国人登録者数は含まれていません。

（資料出所：各市町村）

2 労働需給状況（令和1年11月）

（単位：人、％）

	浦河職安	全 道	前年同月比		前月比	
月 間 有 効 求 人 数	1,107	92,382	-61	-191	168	-3,116
月 間 有 効 求 職 者 数	585	72,019	-69	-3,531	-34	-3,277
月 間 有 効 求 人 倍 率	1.89	1.28	0.10	0.05	0.37	0.01

（資料出所：北海道労働局）

3 建築確認申請（令和1年11月）

（単位：件）

		件 数	前年同月比	前 月 比
当 金 庫 管 内	当 月 の 申 請	5	-3	-3
（新ひだか町～広尾町）	平成31/4～令和1/10 累計	75	-11	

（資料出所：各市町村）

4 企業倒産状況(令和1年11月)

(単位: 件、千万円)

	件 数	金 額	前年同月比(件数)	前年同月比(金額)	業 種	地 区
苫小牧管内	0	0	-2	-18		
うち新冠町～えりも町	0	0	-1	-3		
北 海 道	15	364	-3	164		
全 国	728	12,411	10	284		

(資料出所: 東京商工リサーチ)

5 浦河町・新ひだか町 金融機関預金・貸出金残高(令和1年11月)

(単位: 百万円、%)

預 金			貸 出 金		
残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
144,513	1.04	1.00	144,724	1.02	1.00

(資料出所: 浦河・静内金融協会)

6 浦河町・新ひだか町 手形交換高

(単位: 枚、百万円、%)

	1年11月	前年同月比	前 月 比
交換枚数	150	-36.17	-33.33
交換金額	374	-8.78	-14.22
不渡り手形枚数	0	—	—
不渡り手形金額	0	—	—

(資料出所: 浦河・静内金融協会)

7 気象情報(札幌管区気象台発表)

令和1年11月中の気象状況

(単位: °C、mm、h)

	本 年			平年偏差・平年比			平年偏差、平年比は、1981～2010年の資料から算出された平年値を使用。気温は当月の平均気温から平年値を差し引いたもの(平年比)。降水量、日照時間は当月の降水量・日照時間の平均を平年値で割り返したものの(平年偏差)。
	気 温	降水量	日照時間	気 温	降水量	日照時間	
浦 河	5.0	56.5	143.7	-0.9	70.0	117.7	
広 尾	4.2	77.0	183.6	-0.7	56.4	123.7	

(資料出所: 国土交通省・気象庁)

8 各町の水道使用量(令和1年11月)

(単位: t、%)

	一般家庭用	前年比	事業用	前年比	合 計	前年比
新ひだか町 静内	97,163	1.6	46,958	3.4	144,121	2.2
新ひだか町 三石	16,671	-0.9	10,644	-10.3	27,315	-4.8
浦 河 町	57,651	-2.1	25,899	-3.0	83,550	-2.4
様 似 町	21,861	-1.5	11,527	-1.6	33,388	-1.5
え り も 町	23,866	-0.6	10,092	-11.8	33,958	-4.2
広 尾 町	32,925	-2.8	15,256	-0.2	48,181	-2.0

(資料出所: 各町)

日高振興局では、地域の特色や優位性を皆様に広くアピールさせていただくために、農業、林業、水産業、商工業など幅広い分野で、日高のすばらしさを紹介しています。

今回は、管内における食関連産業振興の取組について、紹介いたします。

「いぶり・ひだか食のブランド・ステップアップ相談会」開催

日高振興局では、胆振総合振興局と(株)北洋銀行と共催の成長市場向けマーケティング支援事業「いぶり・ひだか食のブランド・ステップアップ相談会」(後援：日高信用金庫ほか3行)を、11月18日に静内エクリプスホテルで開催しました。

本相談会は、道内外から招へいた食の専門家から、新商品開発、商品の磨き上げや販路拡大等に向けた相談を行うもので、胆振・日高管内の食に関わる事業者を支援するために実施され、今回で6回目の開催となります。

■相談会開催概要と結果

相談会には、16事業者(胆振4事業者、日高12事業者)が参加し、食の専門家9社からアドバイスを受けました。

参加した食の専門家は、道外からはオフィス内田、高島屋の2社。道内からは、北海道貿易物産振興会、大丸松坂屋百貨店、北海道百科、北海道どさんこプラザ札幌店、フードアトラス、浪花亭、北海道中小企業総合支援センターの7社です。



写真/相談会の様

参加事業者は、専門家のいるブースに商品を持ち込み、試食をしてもらい、商品の特徴や現在の販路などを説明。専門家も具体的なコンセプトなどの聞き取りを行い、商品の特徴や強み、販路拡大に向けたアドバイスを送っていました。

参加した事業者は、「消費者に近い目線を持っている流通のプロの声を聞けて、商品の磨き上げに向けたヒントをいただきました。」「本日は具体的なアドバイスをいただけて勉強になりました。」など、今後の事業展開に向けて実りある相談会となったようです。



写真/相談会の様

食の専門家は、「日高は他の地域と比べて、地元食材を活かそうと熱心に取り組まれている事業者が多い印象です。今回は、相談だけではなく商談に繋がる話しも聞けて、我々としてもとても有意義な相談会でした。日高の素晴らしい食材を活かして、今後も継続した取り組みを進めていただきたい。」と話していました。

【問い合わせ先】

北海道日高振興局産業振興部商工労働観光課主査(食振興) 電話 0146-22-9282

第30回記念&創立100周年
カウントダウンキャンペーン

ひだかしんきん

第30回 懸賞金付定期預金

第1弾!

New / スーパーチャンス

お取扱期間

令和1年12月16日(月)～令和2年3月31日(火)

1等
10万円

2等
5万円

3等
1万円

他

当選本数が増えました!!

1組(1ユニット)あたり

1等 3本→6本

3等以下の
当選本数も!!

上記の当選懸賞金からは、別途20.315%の税金が徴収されます。

懸賞金総額
1,380万円
(10ユニット完売した場合)

Wチャンス!!

懸賞金の当選に外れた方で
新規でお預入れいただいた方の中から
さらに抽選で下記のいずれかの
グルメ品が当たります!!

- ★北海道伊達黄金豚”焼”豚”
- ★北海道伊達黄金豚”しゃぶしゃぶ肉”



※写真はイメージです。

※場合により内容が一部変更になる場合があります。

※なお、商品をお選びいただくことはできませんので予めご了承ください。



日高信用金庫は
2021年4月に
創立100周年を迎えます

Thank You

お申込み、お問い合わせはお近くの当金庫窓口へお気軽にご相談ください。

まごころ ふれ愛
日高信用金庫
URL: <http://www.shinkin.co.jp/hidaka/>

本店営業部
静内支店
三石支店
様似支店

TEL 0146-22-4111 えりも支店
TEL 0146-42-1531 広尾支店
TEL 0146-33-2311 堺町支店
TEL 0146-36-2341 札幌支店

TEL 01466-2-2311
TEL 01558-2-3161
TEL 0146-22-5611
TEL 011-200-7070



ひだかしんきん営業のご案内

ATM	本店	〒057-0013	浦河郡浦河町大通 2 丁目 31 の 2	☎ (0146) 22-4111
ATM	堺町支店	〒057-0034	浦河郡浦河町堺町西 1 丁目 83 の 59	☎ (0146) 22-5611
ATM	静内支店	〒056-0016	日高郡新ひだか町静内本町 1 丁目 1 の 15	☎ (0146) 42-1531
ATM	三石支店	〒059-3108	日高郡新ひだか町三石本町 197 の 23	☎ (0146) 33-2311
ATM	様似支店	〒058-0014	様似郡様似町大通 2 丁目 35 の 2	☎ (0146) 36-2341
ATM	えりも支店	〒058-0204	幌泉郡えりも町字本町 170 の 1	☎ (01466) 2-2311
ATM	広尾支店	〒089-2615	広尾郡広尾町本通 8 丁目 7 の 1	☎ (01558) 2-3161
	札幌支店	〒060-0004	札幌市中央区北 4 条西 5 丁目 1—4 大樹生命札幌共同ビル 4 階	☎ (011) 200-7070

ATM 営業時間 平日 8 : 45 ~ 18 : 00

※札幌支店を除く各店舗に「ハンドセット搭載機」の ATM が設置されております。

土曜日 ATM 稼働店：本店・堺町支店・静内支店・三石支店・様似支店・えりも支店・広尾支店

土曜日 ATM 営業時間 9 : 00 ~ 17 : 00

日曜・祝日 ATM 稼働店：本店・静内支店

日曜・祝日 ATM 営業時間 9 : 00 ~ 17 : 00

店外 ATM

浦河町役場内 ATM 浦河郡浦河町築地 浦河役場内 1 階ロビー

店外 ATM 営業時間 平日 9 : 00 ~ 16 : 00

浦河赤十字病院内 ATM 浦河郡浦河町東町 浦河赤十字病院内 1 階ロビー

店外 ATM 営業時間 平日 9 : 00 ~ 18 : 00

パセオ堺町店内 ATM 浦河郡浦河町堺町 店内フロア

店外 ATM 営業時間 平日・土曜・日曜・祝日 9 : 00 ~ 19 : 00

マックスバリュ静内店内 ATM 日高郡新ひだか町静内木場町 店内フロア

店外 ATM 営業時間 平日・土曜・日曜・祝日 9 : 00 ~ 19 : 00

※店外 ATM は、全て「ハンドセット搭載機」です。

※ハンドセット付 ATM：プッシュボタン付受話器から、音声ガイダンスにより操作手順をご案内する ATM です。



業務部地域貢献課

〒057-0013 浦河郡浦河町大通 2 丁目 31 の 2

電話 (0146) 22-4100 FAX (0146) 22-6106

URL <http://www.shinkin.co.jp/hidaka/>